

## 粉碎飼料用米を活用し、牛への給与を普及

平成 24 年度のタスクチーム活動では、牛への飼料用米の給与拡大を目指し、当センターの搾乳牛を用いた給与実証を行いました。粉碎したもみ米及び玄米を既給与濃厚飼料\*の 20%と置換して、採食性、乳量、乳質への影響を調査したところ、飼料置換による差はなく、濃厚飼料として大いに活用できるものでした。

府内の酪農家に対して、飼料用米の積極活用に向けて、この活動成果を情報発信していきます。

※濃厚飼料：給与する飼料の中で、粗飼料(生草、サイレージ、乾草、わら類等)に対する用語で、穀物の種部(トウモロコシ・大麦・小麦・米)や豆類等をいう



飼料用米を混合した飼料を摂取している試験牛



粉碎後の玄米